
男の悩み

スリムハウス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

男の悩み

【Nコード】

N7221K

【作者名】

スリムハウス

【あらすじ】

戦いは血を流す戦いだけではありません。生き残るために様々な戦いを人は繰り返しています。そこには悩み苦しみがいつもあります。

空が飛べるわけでもない。

海に長く潜っていられるわけでもない。

地上を早く走れるわけでもない。

暑さに耐えられない。

寒さに耐えられない。

人間は弱い生物だ。

自然の弱肉強食の中では、けして生き残れない。

しかし、人間はその弱点を補って余りある頭脳を持っている。

空を飛びたければ、飛行機に乗ればよい。

海に潜りたければアクアリングを背負えばよい。

地上を早く走りたければ、車でもバイクでも乗ればよい。

暑ければクーラーをかければよい。

寒ければ着込んでヒーターをつければよい。

弱点を補うものを発明し、それらを利用してきた。

人間の武器は脳だ。考えることだ。

不便だ。こうすればもつと良くなるはずだ。

疲れる。こうすればもつと楽になるはずだ。

そうやって今の文明を築いた。

これからもより楽に、効率よく、の考えは進み、結果、体力は衰え、生物としての弱点が増していく。

人間は動物として自然界での生活はできなくなり、自分たちが生きられる環境作りのため、自然を切り離し、人工の生活空間を建築していく。

衰える体を守るための防衛力として脳だけ発達していく。

言い方を変えれば、脳が衰えたなら生命の危機が迫ることになる。

常に脳は生存戦争で戦ってきた。

この世に生を授かってから、今もなお戦っている。

受験戦争、就職戦争、昇進戦争、恋愛戦争。

親友と一緒に同じ学校へ入学したい。そのために必死になって勉強する。

競争率一・二倍の学校なら、百人中二十人は落とされる。その二十人になりたくないから必死に勉強する。その結果見事合格。親友も合格。希望通り、二人で入学できた。二人は喜び祝福しあう。しかし、その中で確実に不合格になった人もいる。不合格になった人は悩み苦しむはずだ。

戦いがあれば、必ず勝つものと負けるものがある。

勝てば幸せ、負ければ不幸だ。

だから、だれもが勝ちたいと思う。

企業の生き残りも戦いだ。

車でも家電でも、文具でも雑貨でも、商品を買わなければ商売にならない。

売れる商品を作るためには、同業他社の商品より、より便利な魅力ある商品の開発を進めなければならない。

また、自社開発の商品も去年モデルより売れるように、改良やモデルチェンジを続けなければならない。

しかし、今のままでも実は問題のない商品は多い。十分に満足していく商品ばかりだ。

新型の自動車はハイテク満載で安全性や操作性にすぐれるなど、どんどん進歩していくが、旧式の自動車でもストレスなく走るし、装備も十分だ。

テレビだって地デジにしなくてもアナログのままの映像で満足できている。

メディアもブルーレイじゃなくてDVDで十分だ。

しかし、企業側はそうはいかない。

次々に新商品、新規格を開発し、消費者の購買意欲をあと押し続けなければ企業の命がなくなる。そこで働く人たちも、収入がなくなり生きていけない。

生きるために、本来満たされているはずの生活をさらに良くしようとするための開発が続く。

もはや、人の生活を便利にする商品作りではなく、企業の生き残りのためだけに開発を続けていく。利益を追求するため、不要な設備、人材は整理される。リストラは続く。

そのため、新卒の採用人数も人件費削減のため減少している。新卒者は就職先が狭く、ここでも就活という戦いが起こっている。優秀な頭脳を持ったものでなければ採用などしてもらえない。

恋愛だって戦いだ。

親友のあいつが、自分と同じ女の子のことが好きだと分かったと、あいつに取られたたくなって、焦って彼女に自分の気持ちを伝えると、「ごめんなさい」と一言で済まされてしまう。

もっと、計画的に頭を使って少しずつアプローチしていけばよかったのに、そのときは冷静さを失ってしまったっている。

その後、彼女とは気まづくなるし、親友とも今までのように付き合えなくなる。

もっと、頭を使って、脳を使って、戦い続けなければならない。

人は人より脳を使い続けないと生き残っていけない。

大いに悩むがいい。大いに落ち込めばいい。泣けばいい。

幸せな人より、悩み苦しむ人のほうがより脳を使っている。いろいろな対策、アイデア、解消方法、など解決策をなんとか見つけたいと必死になる。

そして解決策を見つけて成功したとき、いつも幸せな人が味わっている喜びより、何倍も大きな幸せを感じることができる。悩み苦しむ時間が長いほど、その幸せは大きい。そしてそのときは、昨日までの自分より確実に成長している。脳も発達している。

だから悩むことを苦痛にしていけない。絶望してはいけない。明日を信じて、今日を生きるんだ。

……よしっ、自分を元気づけられた。

彼女にふられたのがなんだ。内定がもらえないのがなんだ。
俺だって、絶対に幸せになってやるぞ。
今ほど脳を使っているときはないんだ。
絶対に負けない。

目につっすら涙が浮かんだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7221k/>

男の悩み

2011年10月6日21時54分発行